



南方花菖蒲の郷公園



みなみかた花菖蒲の郷公園の概要

登米市南方町における花菖蒲栽培の歴史は昭和50年に遡り、農業排水路両岸の河川敷を活用した新川花菖蒲園としてたしまれてきたものですが、より良い施設環境の中で鑑賞してもらおうと平成2年度から3年間にわたって整備し、新川花菖蒲園から全面移植と全国から優良品種を集めて平成5年6月に開園したものです。

- 【施設内容】花菖蒲園、日本庭園、現代彫刻、シンボル広場、多目的広場、ピクニック広場、林間広場
 【花菖蒲】約250種（江戸系、肥後系、伊勢系、その他）60万本
 【四季の花】ジャーマンアイリス、さつき、山つつじ、あじさい、桜

花菖蒲の知識

- ◎ 花菖蒲はアヤメ属の植物で、野生種の野花菖蒲を栽培種として改良したものです。菖蒲湯に用いる菖蒲は、サトイモ科の植物で全く別物です。
- ◎ アヤメ属の原産地は北半球の北緯20度から60度に分布し、世界で約300種あると言われています。
花菖蒲はその中の一種類で、原種の野花菖蒲は九州から北海道まで各地に広く自生し、どちらかと言えば冷涼な地を好み、北の方に多く見られます。
- ◎ 花菖蒲は6月上旬から咲き始めますが、100種以上が咲き揃うのは6月中旬から7月上旬頃までです。

アヤメ科三種の違い

	アヤメ	花菖蒲	カキツバタ
適地	乾燥地	湿地または乾地	湿地または浅水地
開花期	5月下旬～6月上旬	6月中～7月上旬	5月下旬～6月中旬
葉	幅せまく濃緑色 主脈が不明瞭	幅中ぐらい 主脈が太い	幅広く黄色味あり 主脈が細小
花色	紫まれに白	紅紫・紫・白・絞り・覆輪など	青紫のほか、紫・白・絞りなど
花径	8cm内外	15cm内外	12cm内外

花菖蒲栽培の始まりと江戸系、肥後系、伊勢系の来歴

- 江戸系** 松平菖翁が江戸時代後期に実生改良したものが現在の花菖蒲の母体であると言われており、その後、江戸堀切を中心に栽培者が増え一層改良が進みました。天保のころには、広重（浮世絵師）の絵にも描かれるほどの活況をみせました。
- 肥後系** 肥後藩主細川斉護公が松平菖翁から条件つきで譲り受け、藩士の間にその栽培・いく種を奨励して発達したのですが、この系統は門外不出という藩の掟のため、広く一般に知られるようになったのは昭和に入ってからです。大輪で堂々とした風格に特徴があります。
- 伊勢系** 江戸系、肥後系とは別に江戸中期、松阪の紀州藩士吉井定五郎によって栽培が始められ、以後この地を中心に発達したものです。男性的な肥後系に対し、伊勢系は女性的で繊細な美しさにあふれています。

南方花菖蒲の郷公園 現代彫刻作品マップ

四季折々の自然と52,000㎡の広大な庭園に設置された
現代彫刻が織りなす静寂と感動のひとつが楽しめます。

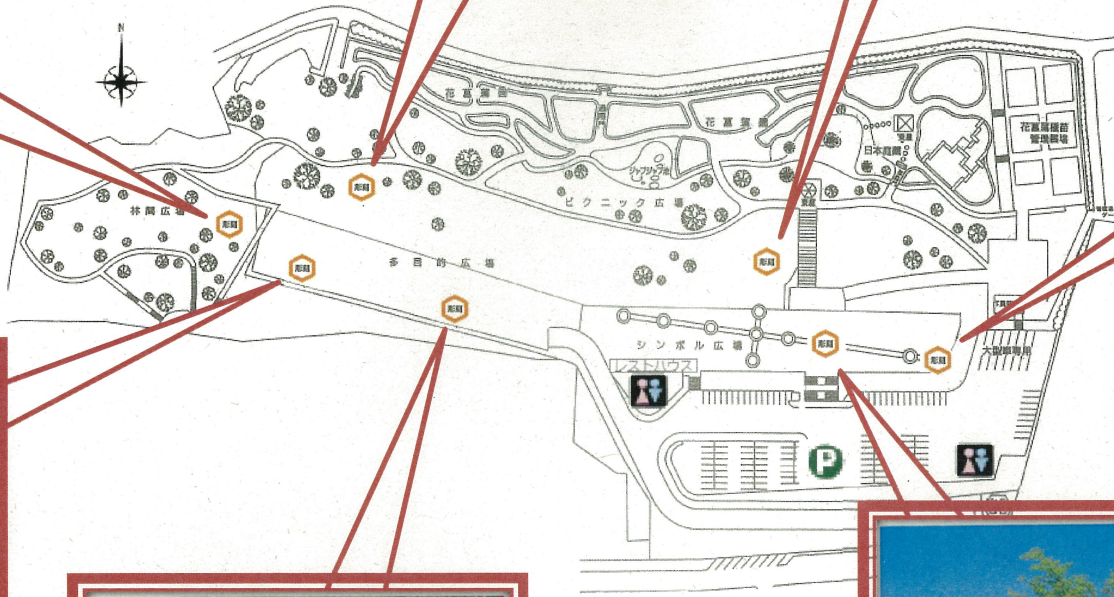
「風を聴く木」
"TREE LISTENING TO THE WIND"
眞板 雅文 (MAITA MASAFUMI)
日本・神奈川県在住



「ストラクチャー・曼陀羅」
"STRUCTURE MANDALA"
檜葉 雍 (NARAHA TAKASHI)
日本・スウェーデン在住



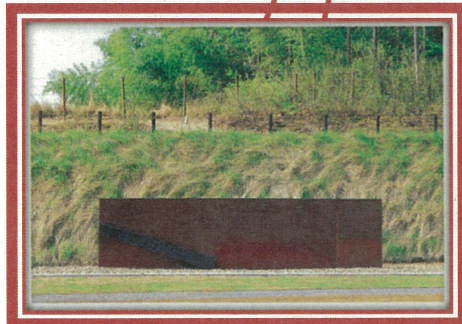
「取り除かれた空間」
"AN UNEXCLUDED SPACE"
佐藤 達 (SATO SATORU)
日本・フランス在住



「構成主義者—絶対主義者の構成」
"CONSTRUCTIVISTE — SUPREMATISTE COMPOSITION"
GARRY FAIF (ガリー・ファイフ)
フランス



「弥生の満月」
"A FULL MOON IN MRCH"
MICHAEL WARREN (マイケル・ウォレン)
アイルランド



「日の出・日の入」
"SUNRISE SUNSET"
高山 登 (TAKAYAMA NOBORU)
日本・仙台市在住



「四季」
"FOUR SEASONS"
ASDRUBAL COLMENAREZ
(ア・ウルバル・コルメナレーズ)
ヴェネズエラ







花屋瀬の郷レストハウス

